

## 認定看護管理者カリキュラム基準【ファーストレベル】

2012年2月7日改正

2017年3月2日下線部追記

【教育目的】				
1. 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。 2. 看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を習得する。 3. 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める。				
教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
看護管理概論	1. 看護管理に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。  2. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察する。	1) 看護管理の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護管理の歴史</li> <li>・ 看護管理の定義</li> <li>・ 看護管理過程、機能、PDCA サイクル</li> </ul>	15
		2) 看護管理に必要な基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の成り立ちと構造</li> <li>・ システム論</li> </ul>	
		3) 看護管理者の役割と活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護管理者の活動の動向</li> <li>・ 看護管理者の役割</li> <li>・ <b>認定看護管理者の活動と役割・機能</b></li> </ul>	
		4) 労働者として学ぶ労務管理の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用契約</li> <li>・ 雇用形態</li> <li>・ 勤務時間</li> <li>・ 勤務体制</li> <li>・ 労働時間管理</li> <li>・ 健康管理 (メンタルヘルス含む)</li> <li>・ 賃金体系</li> <li>・ ワークライフバランス等</li> </ul>	
看護専門職論	1. 拡大・変化する看護専門職の機能と活動範囲を予測し、看護実践の改善に向け考察する。  2. 看護職の自律性と責務を理解する。  3. 看護に関連する法律や制度の変化を捉え、看護管理の視点で変化の意義や適応を理解する。	1) 看護専門職の役割と機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護専門職の自律性と責務</li> <li>・ 看護業務の行動指針(看護業務基準、業務遂行基準、職務規程)</li> <li>・ 看護専門職としてのキャリア発達</li> <li>・ 看護基礎教育制度と継続教育</li> <li>・ 看護専門職の動向</li> <li>・ <b>専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了者の役割・機能</b></li> </ul>	30
		2) 看護実践における倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護者の倫理綱領</li> <li>・ 対象の権利と人権擁護</li> <li>・ 看護実践における倫理的問題の把握と意思決定</li> </ul>	
		3) 看護の社会的責務と法的根拠	看護関連法規 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健師助産師看護師法</li> <li>・ 看護師等の人材確保に関する法律</li> <li>・ 医療法をはじめ、保健医療福祉に関する法律</li> <li>・ 医療保健福祉関連職種に関する法律</li> </ul> 等	

## 認定看護管理者カリキュラム基準【ファーストレベル】

教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
ヘルスケアシステム論	1. ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する。	1) 我が国におけるヘルスケアシステムの構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療保険制度、診療報酬、看護活動の診療報酬上の評価</li> <li>・ <b>介護保険制度、介護報酬、看護活動の介護報酬上の評価</b></li> <li>・ 社会保障制度</li> <li>・ 国民医療費と医業に関する費用</li> </ul>	15
	2. 保健医療福祉制度の変化が看護管理に与える影響を理解する。	2) 保健医療福祉の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健医療福祉の動向</li> <li>・ <b>地域医療構想</b></li> <li>・ 保健医療福祉のニーズと政策</li> <li>・ 保健医療福祉関連職種との理解と活動の場</li> </ul>	
看護サービス提供論	1. 看護サービスの基本的概念を理解する。	1) 看護サービスの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスとは</li> <li>・ 看護サービスの概念</li> <li>・ 看護ケア提供方式</li> </ul>	30
	2. 看護サービスの対象となる人々の権利を尊重した、看護サービスの提供過程を理解する。	2) 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的思考</li> <li>・ 問題解決思考</li> <li>・ 問題解決過程</li> </ul>	
	3. 安全を保障しながらより質の高い看護サービスを提供する方法を理解する。	3) 看護サービスの質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護サービスの質評価と改善</li> <li>・ 看護サービスの安全管理</li> <li>・ 看護サービスと記録</li> </ul>	
	4. 看護サービス提供上の問題を論理的に解決する思考を学ぶ。			

## 認定看護管理者カリキュラム基準【ファーストレベル】

教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
グループマネジメント	1. 組織集団の基本概念、集団の力動的諸機能を理解する。  2. 看護チームにおけるリーダーの役割、医療チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働のあり方を学ぶ。  3. 組織目的の達成に向けてメンバーが行動を取れるように諸理論の活用を考察する。	1) グループマネジメントの基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーシップとメンバーシップ</li> <li>・ 集団の基本概念</li> <li>・ 集団力学（グループダイナミクス）</li> <li>・ 人間関係論</li> <li>・ コミュニケーション</li> <li>・ アサーティヴネス</li> </ul>	30
		2) 看護チームのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護業務の割り当て</li> <li>・ 権限委譲</li> </ul>	
		3) チーム医療と連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チーム医療と看護の専門性</li> <li>・ チーム医療における看護の役割</li> <li>・ カンファレンスの運営、ファシリテーション</li> </ul> <p>演習例として、カンファレンスにおける事例紹介、効果的なプレゼンテーションの方法等</p>	
人材育成論	1. 人材育成のための基本的な概念を理解する。  2. 現場（看護単位）における後輩育成や指導方法を理解する。	1) 人材育成の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人学習の考え方</li> <li>・ 新人教育と社会化</li> <li>・ 役割理論</li> <li>・ 動機づけ理論</li> </ul>	15
		2) 人材育成の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OJT</li> <li>・ コーチング、ティーチング</li> <li>・ メンタルサポート</li> <li>・ 看護単位における研修プログラムの企画と運営</li> <li>・ 実習支援</li> </ul> <p>演習例として、自部署の研修プログラムの確認と実際の運営への活用</p>	
看護情報論	1. 情報の概念と特徴を理解し、倫理的な取り扱いを学ぶ。  2. 患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報管理のあり方を学ぶ。	1) 医療・看護情報の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療情報とは</li> <li>・ 医療情報の活用</li> <li>・ 看護における情報の種類と特徴</li> <li>・ 看護用語の標準化</li> </ul>	15
		2) 看護情報の倫理的側面と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者権利と情報開示</li> <li>・ 情報セキュリティ</li> <li>・ 看護者の守秘義務対策と実際</li> <li>・ 個人情報保護への対策と実際</li> </ul>	
		3) 看護実践に活かす情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報検索・収集</li> <li>・ 看護情報の記録</li> <li>・ 看護の評価・改善のための情報活用</li> <li>・ 根拠に基づく看護実践のための情報管理</li> <li>・ 看護管理への活用</li> <li>・ 電子情報システムの活用</li> </ul>	

## 認定看護管理者カリキュラム基準【ファーストレベル】

看護管理概論	15	時間
看護専門職論	30	時間
ヘルスケアシステム論	15	時間
看護サービス提供論	30	時間
グループマネジメント	30	時間
人材育成論	15	時間
看護情報論	15	時間
総時間	150	時間

### ○演習について

- ・教育機関の裁量により演習時間を設定する。ただし、総時間の1/5に該当する30時間を上限の目安とする。